

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	生活管理指導短期宿泊事業	所管	保健福祉部 高齢者支援課
			Tel 2998-9120

事業の目的 (何の為に 行うか)	緊急時における高齢者を一時的に保護することによって、家族の負担軽減を図り、自立した生活の維持を目的としている。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市内に住所を有する65歳以上の者。	対象とした数	58,432	人
		実際に 利用した数	4	人

活動の内容	(何を したか)	1 原則、利用期間を連続7日以内とし、「養護老人ホーム亀鶴園」において実施する。 2 事業を利用する者は、健康診断書を添付のうえ申請する。 3 利用料は日額1,150円の負担が必要となるが、生活保護受給者は免除となる。							
活動実績	項目名	利用日数	54	項目名	受入可能日数	54	項目名	単位	単位
			----- 単位 日			----- 単位 日			

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	672	432	1,904	5.6

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	実施率	利用日数/受入可能日数 × 100	80	64.3	80.4
			----- 単位 %	----- 単位 %	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ]			
		終了 ⇒ 事業完了		終了 休止	
	予算	* 現状どおり 増額		減額 終了	

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無	有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了			
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ] 終了			
	予算	現状どおり 増額		減額 終了	

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	040400	TEL	2998-9120
事業コード	生活管理指導短期宿泊事業					
040403						
開始年度		平成 15 年度	—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令					
	分野別計画・指針	所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画			所沢市高齢者生活管理指導短期事業実施要領					
	関連・類似事業									
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	3節 高齢者福祉	中柱	1いきいきと暮らすための支援・サービスの充実	小柱	(2)在宅介護支援対策の充実	
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 1 位			・実施計画における位置づけ…			H19	<input type="radio"/>	H20

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)										
	緊急時における高齢者を一時的に保護することによって、家族の負担軽減を図り、自立した生活の維持を目的としている。										
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方							
	市内に住所を有する65歳以上の者。			生活管理指導短期宿泊事業のべ利用者数							
	対象数	単位	平成 18 年度	58,432	平成 19 年度	61,865	利用数	単位	平成 18 年度	4	平成 19 年度

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		≪ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		

⑤経費	《会計種別》	特別会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		672	1,344	1,344
	決算 (見込み含む)		432	1,992	
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 ) ( 人 )	( 人 ) ( 人 )		
	正規職員人件費	0.16 人	1,472	0	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費				
	事業費合計		1,904	1,992	
	財源内訳	一般財源	1,904	1,992	219
		国・県支出金			431
		受益者負担金			193

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	利用日数	日	54	166	168	
		受入可能日数	日	365	365	365	
	成果分析	実施率	利用日数/受入可能日数×100	目標値	46	46	46
		% 達成率		実績	14.7	45.4	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	見直しの必要性
	明らかとなった課題	平成18年4月1日から高齢者虐待の防止法、高齢者の擁護者に対する支援等に関する法律が施行され、緊急避難的に被虐待の疑いがある高齢者を受け入れる手段として利用者の増大が想定されるため、地域包括支援センター職員や民生委員等に本事業の内容を継続してPRしていく。	必要に応じた適切な制度の利用が実施されている。	見直しの必要性
	評価理由	家族関係の希薄化、虐待、経済の停滞等の要因により宿泊支援・指導を必要とする高齢者が増加している。このため今後も当該制度の需要が見込まれる。		

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 終了
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード
	基本目標		
	主要課題		
	施策の方向		